【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公表番号】特表2011-518129(P2011-518129A)
【公表日】平成23年6月23日(2011.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2011-025
【出願番号】特願2011-503036(P2011-503036)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　25/00　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　33/12　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　61/00　　(2006.01)
Ａ０１Ｐ　 3/00　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　13/00　　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　17/52　　(2006.01)
Ｂ０１Ｆ　17/56　　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　 2/18　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　25/00　　１０１
Ａ０１Ｎ　33/12　　１０１
Ａ０１Ｎ　61/00　　Ｄ
Ａ０１Ｐ　 3/00
Ｂ０１Ｊ　13/00　　Ａ
Ｂ０１Ｆ　17/52
Ｂ０１Ｆ　17/56
Ａ６１Ｌ　 2/18

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月12日(2012.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ヒドロゲル生物材料への陽イオン性殺生剤の取り込みを抑止するための、シスージオール含有ポリマーの使用であって、該使用において、陽イオン性殺生剤およびボレートを含有する組成物に、取り込み抑止量のシスージオール含有ポリマーが添加される、使用。
【請求項２】
前記組成物のｐＨが７より高い、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記陽イオン性殺生剤が、ポリマー性第四級アンモニウム化合物である、請求項１または２に記載の使用。
【請求項４】
前記ポリマー性第四級アンモニウム化合物がポリクオタニウム－１である、請求項３に記載の使用。
【請求項５】
前記シスージオールポリマーが、ポリビニルアルコールおよびガラクトマンナンからなる群より選択される、請求項１に記載の使用。

【請求項６】
前記ガラクトマンナンが、グアーガム、イナゴマメガム、タラガム、およびその化学修飾された誘導体からなる群より選択される、請求項５に記載の使用。
【請求項７】
前記ガラクトマンナンがヒドロキシプロピルグアーを含む、請求項５に記載の使用。
【請求項８】
前記組成物中のガラクトマンナンの量が、約０．０１重量／体積％～１重量／体積％である、請求項５に記載の使用。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、例えば、以下を提供する：
（項目１）
ヒドロゲル生物材料への陽イオン性殺生剤の取り込みを抑止する方法であって、該方法は、陽イオン性殺生剤を含有する水性組成物に、取り込み抑止量の不安定な陰イオン性高分子電解質を添加する工程を包含する、方法。
（項目２）
上記不安定な陰イオン性高分子電解質が、ボレート－シスジオールポリマー複合体を含む、項目１に記載の方法。
（項目３）
ヒドロゲル生物材料への陽イオン性殺生剤の取り込みを抑止する方法であって、該方法は、陽イオン性殺生剤およびボレートを含有する組成物に、取り込み抑止量のシス－ジオール含有ポリマーを添加する工程を包含する、方法。
（項目４）
上記組成物のｐＨが７より高い、項目３に記載の方法。
（項目５）
上記陽イオン性殺生剤が、ポリマー性第四級アンモニウム化合物である、項目１～３のいずれか１項に記載の方法。
（項目６）
上記ポリマー性第四級アンモニウム化合物がポリクオタニウム－１である、項目５に記載の方法。
（項目７）
上記シス－ジオールポリマーが、ポリビニルアルコールおよびガラクトマンナンからなる群より選択される、項目２または３のいずれか一項に記載の方法。
（項目８）
上記ガラクトマンナンが、グアーガム、イナゴマメガム、タラガム、およびその化学修飾された誘導体からなる群より選択される、項目７に記載の方法。
（項目９）
上記ガラクトマンナンがヒドロキシプロピルグアーを含む、項目７に記載の方法。
（項目１０）
陽イオン性殺生剤のバイオアベイラビリティを調節する方法であって、該方法は、陽イオン性殺生剤を含有する組成物に、バイオアベイラビリティ調節量の不安定な陰イオン性高分子電解質を添加する工程を包含する、方法。
（項目１１）
上記組成物中のガラクトマンナンの量が、約０．０１重量／体積％～１重量／体積％である、項目７に記載の方法。
（項目１２）

陽イオン性殺生剤を含有するエマルジョンの安定性を増加させる方法であって、該方法は、該エマルジョンに、エマルジョン安定化量の不安定な陰イオン性高分子電解質を添加する工程を包含する、方法。

（項目１３）

陽イオン性殺生剤およびボレートを含有するエマルジョンの安定性を増加させる方法であって、該方法は、該エマルジョンに、エマルジョン安定化量のシス－ジオール含有ポリマーを添加する工程を包含する、方法。

（発明の要旨）

本発明は、第一群の実施形態において、ヒドロゲル生物材料への陽イオン性殺生剤の取り込みを抑止する方法を提供し、この方法は、陽イオン性殺生剤を含有する水性組成物に、取り込み抑止量の不安定な陰イオン性高分子電解質を添加する工程を包含する。別の実施形態において、この方法は、陽イオン性殺生剤およびボレートを含有する組成物に、取り込み抑止量のシス－ジオール含有ポリマーを添加する工程を包含する。好ましい実施形態において、この陽イオン性殺生剤は、ポリマー性第四級アンモニウム化合物であり、そしてこのシス－ジオール含有ポリマーは、ガラクトマンナンである。別の好ましい実施形態において、この陽イオン性殺生剤は、ポリマー性第四級アンモニウム化合物であり、そしてこのシス－ジオール含有ポリマーは、ポリビニルアルコールである。